

JEITA関西支部 「環境セミナー 2014」

- 主催：関西支部 関西環境対策委員会
- 担当部署：関西支部
- 参加者数：約60名

概要

関西支部 関西環境対策委員会は、3月4日（火）大阪市北区の中央電気倶楽部で「環境セミナー2014」を開催しました。このセミナーは2000年から毎年開催し、今回15回目となります。

本年度は、中央大学法科大学院教授で元環境省審議官の石野耕也先生をお招きし、「環境政策の動向・将来展望と企業活動」というテーマで、そして、京都技術法規サービス合同会社の村越茂富氏による「フタレート規制を中心とした海外規制の動向」というテーマの2つの講演が行われました。

石野先生のご講演では、特に、「持続可能な社会に向けた取り組み」として

1. 地球温暖化に対応する「低炭素社会の実現」
2. 生物多様性に対応する「自然共生社会の実現」
3. 資源循環に対応する「循環型社会の実現」

の3つの視点から環境基本計画の概要、環境人材育成事業、そして現状の環境ビジネスの動向、企業の取り組み事例等幅広くかつわかりやすく解説が行われました。

受講者は企業に求められる環境経営の全体像、企業価値向上へ糸口を認識できたのではないかと思います。

また、村越氏の講演では、今後規制が強化されていくであろうフタレート規制の動向をデンマーク規制とEUの取

り組み、米国、ロシア、中国における現状をグローバルの視点で詳しく解説が行われました。国際的な化学物質管理政策の流れは、化学物質固有の有害性のみに着目したハザードベース管理から、環境への排出量（ばく露量）も踏まえたリスクベース管理へシフトしており、受講者からは、環境法規制の変化が早いので、このセミナーで最新情報が入手できる事への感謝と今後も続けて欲しいとの意見が多く、企業関係者の関心の高さがうかがえました。



プログラム

○開会・主催者挨拶

関西環境対策委員会 委員長 大西 宏 氏

○「環境政策の動向・将来展望と企業活動」

中央大学法科大学院教授 元環境省審議官 石野 耕也 氏

○「化学物質使用制限に関する規制動向」

京都技術法規サービス合同会社 代表 村越 茂富 氏